

2018

ライティング チェックシート

リベリオン補助テキスト

くろかさ

くろかさです。

今回は、記事を添削していたデータをもとに、
文を書く際のチェックシートを作成してみました。

文章を書く際に犯してしまうミスというのは結構似通ってきます^^；

なので、このチェックシートを使うことで、
提出前の自己チェックがある程度可能になるわけです。

自己チェックをしてから文章を提出してもらうことで、
添削の時間も、修正の時間も大幅に削減されるので、
双方にとってメリットが大きいと思います。

これから解説していく項目を
しっかり意識して文章を書いてもらえば、
記事の添削も一発で通ることが多くなるでしょう。

また、自分で文章を読み直す癖がつくことで
文章力も底上げされていくので、是非活用してみてください。

チェックシートの使い方と注意点

後で挙げる項目は、
1回の読み直しでまとめてチェックするのではなく、
極力「1項目ごとに1回通して読み直す」くらいの
勢いでチェックしてください。

つまり、「適度に改行されているか？」
という項目をチェックする場合、
適度に改行されているかだけに注目して
記事を一通り読み直し、それが終わったら次の項目・・・

なぜなら、この繰り返しを行うことで、

嫌でも自分の文章を何回も読み直せるので、
効率的に自分の文章を読み直し、修正することが出来ます。

なので、是非面倒でもやってみてください。

私が記事添削の際によく注目・指摘している点は以下の通りです。

- 1、改行は適度にできているか、語尾は連続していないか
- 2、語尾が連続していないか（です。です。です・・・など。）
- 3、主語を略したり、代名詞にしていないか（あれ、これなど）
- 4、「皆さん」ではなく、「あなた」「私達」「僕達」と使っているか
- 5、言葉が碎け過ぎていたり、逆に小難しい表現を使っていないか（基本は中学生にもわかる説明）
- 6、読者や自分の言葉は「」、重要な単語は“”など、うまく使い分け出来ているか
- 7、誤字脱字はないか
- 8、接続詞を使っているか、接続助詞や「、」を1文に2～3つ以上使い、1文がだらだらと長くなっていないか
- 9、各主張⇒理由付け⇒その主張の再定義 の流れがきちんと出来ているか

上記のポイントをチェックしましょう。

- 1、改行は適度にできているか、語尾は連続していないか

文章を書く際、
適度な改行を行い読みやすくしましょう。

たとえば今書いているように、このような感じで1行に並んでいる文章が左端から右端まで
びっしりだと読みにくいと思います。

なので、

こういう感じで、
1行に並んでいる文章を適度に改行し、
読者さんが読みやすくしたいところです。

さらに、
メルマガなどだと
ブログに書く際よりも
さらに改行する頻度は
短くした方が良いでしょう。

↑まさにこういう感じで、
スマホなどで読んでも
改行が狂わないよう、
チェックしましょう。

改行については私のブログもそうですし、
モデリングしたいブログを見つけて参考に
していくのも当然あります。

また、改行する際の注意点。

今、書きながら
例を挙げていますが、隣接する列のごとの
文字数がこのように
ばらばらで
統一感がない改行だと非常に不細工に見えますよね？

なので、
最悪でもこうやって
「末広がり」の形にする。

または、隣接する列の文字数を
極力統一していけるようにすれば
非常にまとまって読みやすいです。

それと、1ブロックごとの行は↑のように、
極力3行以内でまとめていくよう意識します。

4～5行もある文章だとだらだら長くて
非常に読みづらくなってしまいますので。

例：

いろはにほへとちりぬるを、
わかよたれそつねならむ
うみのおくやまけふこへて
あさきゆめみしゑひもせす
寿限無寿限無後光の擦り切れ。

・・・長すぎますよね^^；

なので、適度に接続詞を入れたり、
「。」で文をいったん切るなどの
工夫をしていくようにしましょう。

2、語尾が連続していないか（です。です。です・・・など。）

文ごとの語尾を連続させてみます。

おそらく読んでいて気付くと思います。

このように、「ます。」が連続していると、
非常に抑揚のない不自然な文章になります。

今度は各文で語尾を変えて試してみます。

するとどうなるか。

こういう感じで、
リズムカルな文章になります。

細かいと思うかもしれませんが、
これについては毎回多くの人に
注意しているポイントなんです。

逆に、一回注意すると簡単に
治る癖なので、意識してください。

3、主語を略したり、代名詞にしていないか（あれ、これなど）

これも多くの人がやってしまいがちなミスです。

日本語というのは厄介なもので、
話し言葉だと「話の流れ」で、
主語を略してしゃべることも多いはず。

話し言葉だとそれが何となく通じるので
良いのですが、文章だと大きな問題になります。

ウェブ上の文章だと特にそうですが、
「飛ばし読み」をして、手っ取り早く
要点だけ読みたい人も多いはず。

一字一句丁寧に読む人は正直稀。

だから、飛ばし読みをする人にも
ある程度考慮した文章を書く必要があります。

たとえば、主語を省略したり、
代名詞で「あれ」「彼」「これ」などと
表現してしまうと途端に意味が分からなくなります。

たとえば、私がこういう文を書いたとします。

例：

「激務で、ついに体を壊したのです。

だから、会社を辞めることにしました。」

さて、この文章を、あなたはどう解釈しますか？

「私の話」をしていると思った方、残念ながら×です。

実は、私はこう言う意味で書いたつもりです。

↓

「激務により、**師匠の同僚は**ついに体を壊したのです。」

「**それを間近で見てしまった師匠は、**会社を辞めることにしました。」

主語が判明するだけで、全然話が変わってしまいますよねw

・・・このように、
主語を端折ってしまうと、
あなたの文章を読んだ人から、
全く見当はずれな解釈をされる場合もあります。

「誰が（何が）、何をした」

という「主語&述語」の部分は、常に意識して文章を書きましょう。

また、主語を略さず書くことで、必然的に
1記事に含まれるキーワードの数は多くなります。

そうすれば、SEO的にも多少の効果があるので、
主語は極力略さず、いちいち書くのがおすすめです。

サンプルにつき、以降は非公開。